

# 3年美術科学習指導案

## 1 単元 「心をともしあかり」(表現：デザイン・工芸)

### 2 考察

#### (1) 単元観

生活に必要な電灯とは違い、生活や気持ちをゆたかにするためのあかりのデザインと制作を行う。学習指導要領のA表現「(2)-ア、ウ」「(3)-ア、イ」、B鑑賞「(1)-ア、イ」、〔共通事項〕ア、イと深く関わる題材になる。中学校最後の作品となるので、核となるLED電球は共通のものを使用するが、それ以外のカサにあたる部分は自分の好きな材料を使ってデザインできるようにする。日中あかりを入れない時間も長いので、飾って美しい形をめざしたい。高価で特別な材料ではなく、なるべく身近にあるものを利用して、ものを工夫して作る楽しさも味わってほしい。デザイン・材料の選定・制作手順の決定など、自由になる部分が多い分、自己決定していく場面が多い。校内研修の「主体的な学び」にも通じる。今までの材料経験や学習内容をフルに活用して、取り組んでもらいたい。中学では1年次に扱った紙粘土や木工の基礎、2年次の「パッケージ」で学んだ紙を立体にする折りなどが生かせると思われる。

#### (2) 生徒観

#### (3) 指導観

- ・課題をつかむ段階では自分の作品のイメージがもてるように、「光が透ける素材」と「光が漏れる素材」の参考作品にふれる機会を設ける。
- ・デザインをする段階では素材の光の通し方を試すため、自由に実験できる場所を設ける。
- ・デザインを決定する段階で、その形で作れそうかという見通しを持たせたり、材料がどのくらい必要かを推測させたりするため、紙でおよその大きさの試作品を作る。
- ・飾っても美しいデザインになるように、全体のバランスに気を配ることに注意を促していく。
- ・安全面から「カッターナイフとマット」や「のこぎり」等、刃の付いている工具類は学校からの貸出とすることをあらかじめ知らせておく。
- ・制作の段階では接着に苦勞することが予想されるため、電源をひいてグルーガンが使える場所を数カ所設ける。
- ・鑑賞の段階ではお互いの工夫が感じ取れるよう、デザインの鑑賞とともにあかりを入れてみた状態の鑑賞もできるような場を設定する。

## 3 単元の目標

素材を工夫して、心をほっとさせるあかりを制作できるようにする。

## 4 本時の展開

### (1) 本時のねらい

さまざまな表現に触れてよさや改善点に気づき、自分の作品制作への見通しをもつ。

### (2) 準備

教員：参考作品9つ・ワークシート・ろうそく・ライター・参考作品の画像スライド

生徒：教科書・資料集・筆記用具

(3) 展開

| 学習活動と予想される生徒の反応   | 時間                    | ○支援及び留意点 ●評価   |
|---|-----------------------|--|
| <p>1. 制作課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【めあて・課題】<br/>あかり研究<br/>材料・作り方に注目！<br/>あかりの見え方に注目！</p> </div>                                       | <p>10</p>             | <p>○暗幕の効く PC 室の暗さを実感できるようにする。そこにあかりが灯ったときの感じを手がかりに「あかり」の役割に触れ、制作課題につなげていく。</p> <p>○中学最後の制作になるので、材料を自分で揃えてデザインしていくことを伝える。高価なものよりも身近にあるものや手に入りやすいものを工夫して使っていく楽しみにも触れる。</p> <p>○課題を提示し、みるべきポイントを伝える。</p>  |
| <p>2. 班に分かれ、割り当てられた作品を観察する。ワークシートに記録をしていく。</p> <p>3. 分かったことや考えたことを発表する。自分が担当した作品以外のものは、実物と PC 画面の画像で確認する。気に入った材料や形をメモしながら発表を聞く。</p>   | <p>10<br/><br/>20</p> | <p>○パソコン室の席で 4 人組を指定し、ワークシートと参考作品を渡す。絨毯に座って丸くなるかんじで話し合う。</p> <p>○途中で 1 分程度真っ暗にする時間をつくり、光の様子を観察できるようにする。</p> <p>○発表の役割を決めている間に PC を立ち上げる。発表している班の担当作品を一斉送信で画面に写す。</p> <p>○発表を聞きながら、気に入った材料や形をメモするよう促す。</p> <p>○発表後、しっかり分析ができたことを称える。出てきた素材を確認する。2 種類の素材があったことに気づけたか問いかける。</p> <p>→<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">光が透ける作品</span>、<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">光が漏れる作品</span> をおさえる</p> |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【ふりかえり】<br/>注目して見た結果、心にふれる「あかり」はありましたか？</p> </div> <p>4. 自分の作品について、今の時点でのひらめきをメモする。</p> <p>次時の連絡を聞く。<br/>プリントは提出。</p> | <p>10</p>             | <p>○ふりかえりを提示し、どれかを選べというわけではなく、この 1 時間でわかった素材や作品の感じをもとに、自分ならどうしよう、と考えることが大切なことを伝える。</p> <p>○今の時点でのひらめきをメモする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>評価項目（方法）</p> <p>●さまざまな表現に触れてよさや改善点に気づき、自分の作品制作への見通しをもてたか。<br/>(ワークシート)</p> </div> <p>○次時は美術室で、もう少し素材の実験などをしながら、デザインを考えていくことを伝える。色鉛筆を持ってくること、今日のプリントの提出方法を伝える。</p>  |

指導と評価の計画 美術科 3年 単元「心をともしあかり」(全7時間計画)

|      |   |   |  |  |   |
|------|---|---|--|--|---|
| 目標   | 素材を工夫して、心をほっとさせるあかりを制作できるようにする。   |   |  |  |   |
| 評価規準 | <p>【関心】 あかりや素材が人の気持ちに与える効果に目を向けようとしている。</p> <p>【発想】 光の透け方や漏れ方を試して、発想を広げている。</p> <p>【技能】 形や色、あかりの効果を考え、工夫してあらわしている。</p> <p>【鑑賞】 作品を鑑賞し、あかりの雰囲気の違いを感じ取っている。</p> |   |  |  |   |
| 過程   | 時間  | 目標 (ねらい)<br>課題  | 学習活動   | ふりかえり  | 評価項目<br>(方法・観点)   |
| つかむ  | 1   | ◎ さまざまな表現にふれて長所や改善点に気づき、自分の作品への見通しをもつ。<br><br>あかり研究   | (PC室で)<br>・あかりの効果や制作課題を知る。<br>・参考作品の分析を通して、さまざまな素材や形にふれる。<br><br>(本時)                    | ・私の作品には、この素材を使ってみたい。<br>・あの素材の感じで、もう少しカッコいい形にしてみたい。              | ・さまざまな表現に触れてよさや改善点に気づき、自分の作品制作への見通しをもてたか。<br><br>(ワークシート・関心)                                    |
|      | 3   | ◎光の透け方や漏れ方を試して発想を広げて、形を試作しながら、より心にふれる形を考えている。<br><br>素材を工夫して、心をほっとさせるあかりを制作しよう              | ・自分のあかりのデザインを考える。<br>・素材の透け方の違いを確かめる。<br>・不要紙とテープで試作品をつくる。<br>(大きさ・材料の量を知る。設計上の注意点に気づく。) | ・こんな手順で組み立てればできそうだな。<br>・この素材をこのくらい集めてこよう。接着にはセメダインが必要そうだ。       | ・あかりや素材が人の気持ちに与える効果に目を向けようとしている。<br><br>(設計図・関心)<br>・光の透け方や漏れ方を試して、発想を広げている。<br><br>(観察・設計図・発想) |
| 追究する | 2   | ◎自分の設計図をもとに、材料を加工し、組み上げていく。形や色、あかりの効果を考え、美しい形になるように工夫をしていく。<br><br>飾っても美しい作品になるよう、工夫を加えていこう | ・素材を集め、形をつくる。<br>・全体のバランスを見て、工夫や改善を加えていく。  | ・意外とまっすぐ立てるのは難しいな。ここに支えになる貝殻を付ければ、なんとかなるかも。<br>・アクセントになる飾りがほしいな。 | ・形や色、あかりの効果を考え、工夫してあらわしている。<br><br>(観察・作品・技能)   |
|      | 1   | ◎ みんなの工夫を知る。あかりのよさを再認識する。<br><br>みんなのあかりに癒やされよう   | ・鑑賞会をして、みんなの作品のよさにふれる。   | ・この感じも可愛くていいね。<br>・ていねいに仕上げたなあ。                                  | ・作品を鑑賞し、あかりの雰囲気の違いを感じ取っている。<br><br>(ワークシート・鑑賞)  |